

# 国語科学習指導案

指導者 島本 佳代子

- 1 日 時 平成 24 年 9 月 11 日 (火)
- 2 学 年 第 1 学年 2 組 20 名 [1 年 2 組教室]
- 3 単 元 名 「サラダでもっともってげんき」のおはなしをつくろう  
(学習材：おはなしをたのしんでよもう  
「サラダでげんき」 東京書籍 一年下)

## 4 単元設定の理由

- 本単元は、小学校学習指導要領第 1 学年及び第 2 学年の「C 読むこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には以下のように示されている。

(1) ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。  
オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。

本単元では、人物が登場する順序とそれぞれの行動に着目して想像を広げながら読み深め、読み取ったことをもとに、自分なりにっちゃんにどんなことを教えるのかを考え、児童自身が本教材に登場する場面をつくり「サラダでもっともってげんき」というお話にするという活動を設定した。

教材文「サラダでげんき」は、病気のお母さんに元気になってもらうためにサラダを作ろうとするりっちゃんと、動物たちがサラダ作りの順を追って登場し協力してくれるというユーモラスな展開で構成されている。また、動物たちが自分の好物をサラダ作りの材料として教えてくれたり、元気が動物の特徴であったりする展開の繰り返しのおもしろさがあり、次は誰が、どんなものを教えてくれるのかと想像豊かに読み進めることができる作品である。

このような教材文の特性を生かして、物語の中の人物たちと同じ目的を持って児童自身が本教材の中に登場するお話を書く活動を行うことで、よりこの物語の世界に同化して楽しむことができる教材であるといえる。

- 本学級の児童は、1 学期「おおきなかぶ」の学習において、場面の様子を想像しながら、お話のおもしろさを楽しんで読む学習をした。児童は物語の展開に関心を持ち、繰り返しのおもしろさを感じながら登場人物の様子や気持ちを考えていった。登場人物の行動から気持ちを考えていく際には、動作化しながら音読したり、気持ちを吹き出しに書いたりする学習活動を行い、表現する楽しさを感じ取っているようだった。

しかし、文字をよく見ないで読んでいる児童や、一文字ずつ拾い読みで文節ごとのまとめ読みができにくい児童もいる。このような児童は、登場人物の様子を想像することができにくいいため、楽しく読むことが不十分である。一斉読みやリレー読みなどを取り入れ、一人一人がすらすら音読できるようにしていく。

また、ほとんどの児童が動作化をしながら登場人物の気持ちを想像することができる。しかし、「うれしかった。」「楽しかった。」等、1 単語でしか表現できない児童が 15%いた。挿絵を活用したり、挿絵と文章を結び付けたりしながら、登場人物の様子を膨らませて想像できるようにしていく。

- 指導にあたっては、自分が登場する場面をつくることを目的とすることで、意欲的に文章全体の展開を読み取り、登場人物の会話や行動に着目して想像を広げながら読むことができるよう指導する。具体的には、以下の3点において工夫する。

第一に、たくさんの動物たちが登場し、りっちゃんにサラダ作りを教えていく繰り返しのおもしろさを味わえるようにするために、教師が読んだ後児童が読む追い読み、一文ずつのリレー読みや役割読み等、多様な音読を取り入れる。これにより、教材文の特徴である、擬音語や擬態語、リズム感を体感させることができると思う。

第二に、話の展開を叙述に即して捉えさせるために、毎時間「登場の仕方」「材料」(本時では「味付け」)にサイドラインを引かせる。これにより、繰り返しの構造を捉えやすくなったり、動物たちが登場するたびにサラダが完成に近づいていく展開を読み取ったりすることができると思う。

第三に、三次の活動の際、創作の視点をはっきりさせるための手立てとして、ワークシートを活用する。ワークシートには、登場の仕方、材料・味付けの視点を与え、これまで学習したことを生かせるようにする。そのワークシートをもとに、教科書と同じような形式で絵と文を書き、「サラダでもっともっとげんき」のお話を完成させる。

また、登場の仕方、何を教えるのかを登場人物の行動や様子を手がかりに考えることができるよう、二次で学習したことをワークシートと似た形で掲示しておく。

## 5 研究主題との関わり

### (1) 扱う言語活動例

本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読むこと。 (読むこと 言語活動例 ア)

### (2) 言語活動を充実させるための指導方法の工夫

創作の視点をはっきりさせるために、ワークシートを活用していく。ワークシートには、「登場の仕方」「材料(味付け・食べ方等)」「すすめた理由」の視点を与えておき、二次で読み取ったことを活かせるようにする。

## 6 単元の目標

○物語に興味を持ち、楽しんで読もうとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

◎人物の登場する順序と行動に着目して、お話の展開を読み取ることができる。 【読むこと ウ】

○お話の展開をもとに、自分が出てくる場面をつくり、発表し合う。

【読むこと オ】

7 単元の評価規準

	国語への関心・意欲・態度	読むこと
単元の評価規準	<p>○物語に興味をもち、楽しんで読もうとしている。</p> <p>○自分が登場する場面を、お話の展開をもとに、意欲的につくろうとしている。</p>	<p>◎人物の登場する順序と行動に着目して、お話の展開を読み取っている。</p> <p>○お話の展開をもとに、自分が出てくる場面をつくり、発表し合っている。</p>
学習活動の評価規準	<p>○自分なりにっちゃんにどんなことを教えるのかを考え、「サラダでもっともっとげんき」のお話をつくろうとしている。</p> <p>○友達の「サラダでもっともっとげんき」に関心をもち、楽しみながら発表を聞こうとしている。</p>	<p>◎「登場の仕方」「材料」「すすめた理由」に着目して、お話の展開を読み取っている。</p> <p>○教材文の展開をもとに、自分の経験をふまえたり想像を膨らませたりしてお話をつくっている。</p>

8 指導計画（全10時間）

次	学 習 活 動	評 価			
		関	読	評価規準	評価方法
一	<p>教材文の読み聞かせを聞き、感想を出し合う。</p> <p>(1)</p> <p>「サラダでもっともっとげんき」を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>(1)</p>	○	◎	<p>○ 教材文に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>○ 話のあらすじを捉え、「サラダでもっともっとげんき」をつくる見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>発言</p> <p>ノート</p>
二	<p>人物が登場する順序に気をつけて、教材文を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・りっちゃんがサラダを作り始める場面</li> <li>・のらねこと犬の場面</li> <li>・すずめとありの場面</li> <li>・うまと白くまの場面</li> <li>・アフリカぞうの場面</li> <li>・サラダが出来上がった場面</li> </ul> <p>(6, 本時5/6)</p>		○	<p>○ お母さんのために一生懸命考えて、サラダを作り始めたりっちゃんの行動を順番に読み取っている。</p> <p>○ 動物の行動や会話文に着目して、「登場の仕方」「材料」(本時では「味付け」)「すすめた理由」を読み取っている。</p>	<p>発言</p> <p>音読</p> <p>ノート</p>

三	自分が登場する場面を考え発表する。 (2)	○	◎	○ 教材文の展開をもとに、自分の経験をふまえたり想像を膨らませたりして書いている。	発言 教科書 ワークシート
---	--------------------------	---	---	-------------------------------------------	---------------------

## 9 本時の展開

### (1) 本時の目標

アフリカぞうと他の動物との役割の違いや共通点について読み取ることができる。

### (2) 観点別評価規準

○「登場の仕方」「材料」「やってきた理由」に着目して、お話の展開を読み取っている。

〔読むこと〕

### (3) 本時のポイント

アフリカぞうと他の動物たちの役割の違いを、「登場の仕方」「材料」「やってきた理由」の視点に着目させたり、お話全体に目を向けたりして、明確にできるようにする。

### (4) 準備物

場面絵、りっちゃんとアフリカぞうの会話文

### (5) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
1 前時までの学習を振り返る。 2 本時の学習課題を確認する。	○繰り返しの展開と動物の役割を明確にする。	
アフリカぞうは、どんなサラダをつくったのでしょうか。		
3 役割読みをする。 P15.L1～P16.L4	○アフリカぞうがどんなことをしたのか考えながら読むよう伝える。	
4 アフリカぞうと他の動物たちの役割の違いを話し合う。 ・キューン、ゴーゴー、キュー ・ひこうき ・せかせかとおりてきました。 (登場の仕方)	○「登場の仕方」にサイドラインを引き、「材料」を線で囲ませる。 ○「登場の仕方」「材料」の視点に着目し、これまでの動物の読み取りと比べながら、違いに気付かせていく。 ○「登場の仕方」では、サイドラインを引いた部分をもとに、急いでやってきていることに気付かせる。 ◎どうして急いでいるのですか。	

・あぶらとしおとす  
(材料)

- ・サラダができていないのに、りっちゃんがお母さんと食べようとしていたから。
- ・りっちゃんとお母さんが食べる前に、油と塩と酢を入れたかったから。
- 「材料」では、これまでの動物たちと材料の関係性を振り返り、それがアフリカぞうと「油・塩・酢」とでも当てはまるのかを考えさせる。思考が難しい児童には、1場面でりっちゃんがおいしいサラダ、元気になるサラダをつくることを決めたことを想起させる。
- ◎どうして、アフリカぞうは大好物じゃないものを入れたのでしょうか。
- ・味付けをしておいしいサラダにするため。
- ・野菜や昆布だけでは、おいしいサラダにはならないから。
- ・ドレッシングを作って、お母さんが元気になるおいしいサラダを作りたいかったから。
- 「おてつだい」が何かを、アフリカぞうがしたことから考えさせる。また、それが「やってきた理由」になっていることをおさえる。
- サラダをまぜる場面では動作化を取り入れ、ぞうならではの役割であることを読み取らせる。
- ◎どうして、力強くまぜていたのでしょうか。
- ・サラダに味をしっかり混ぜるため。
- ・ドレッシングを入れて、おいしいサラダにしようと思ったから。
- 他の動物たちとの違いを明確にすることで、アフリカぞうがどんなサラダを作りたいのかを読み取らせる。

<p>5 りっちゃんがアフリカぞうに言った言葉を想像する。</p>	<p>○他の動物へのお礼の言葉やおいしいサラダ、げんきになるサラダを作ろうとしたことを思い出させ、話し合えるようにする。</p>	<p>○りっちゃんの思いを、アフリカぞうが手伝ってくれた様子やこれまでの会話文から想像して書いている。 (ノート)</p>
<p>6 本時の学習を振り返り、次時の学習の確認をする。</p>	<p>○次時はサラダができあがる場面を扱うことを伝える。</p>	

トールミンの図式 「サラダでげんき」 本時教材分析

アフリカぞうは、どんなサラダをつくったのでしょうか。

### 事実

- ① アフリカぞうがせかせかおりました。  
「まにあって よかった よかった。」
- ② 油と塩と酢をかけると
- ③ スプーンを鼻でにぎって、力強くくりんくりんまぜました。

### 結論

- ・ おいしいサラダを作りたい
- ・ お母さんが元気になるサラダを作りたい

### 理由

- ① おいしいサラダができてないのに、りっちゃんがお母さんと食べようとしていたから。  
りっちゃんとお母さんが食べる前に、お手伝いしたかったから。
- ② 味を付けるため。  
ドレッシングにして味をつけるため。  
今まで入れた材料では、元気にはなるけど、おいしくない。味が無い。  
お母さんにおいしく食べて欲しいから
- ③ アフリカぞうは力持ちだから、しっかりまぜることができるから。  
ドレッシングの味を、サラダ全体にまぜておいしくするため。